



みさき

44号

美咲町議会だより



主な内容

激論28年度当初予算

② ③ ⑨

こんなことが決まりました

④～⑤

13議員が町政を問う

⑫～⑬

大きく育て美咲の子ども 豊かな自然と輝く笑顔

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

2016年5月10日発行

● 28年度当初予算

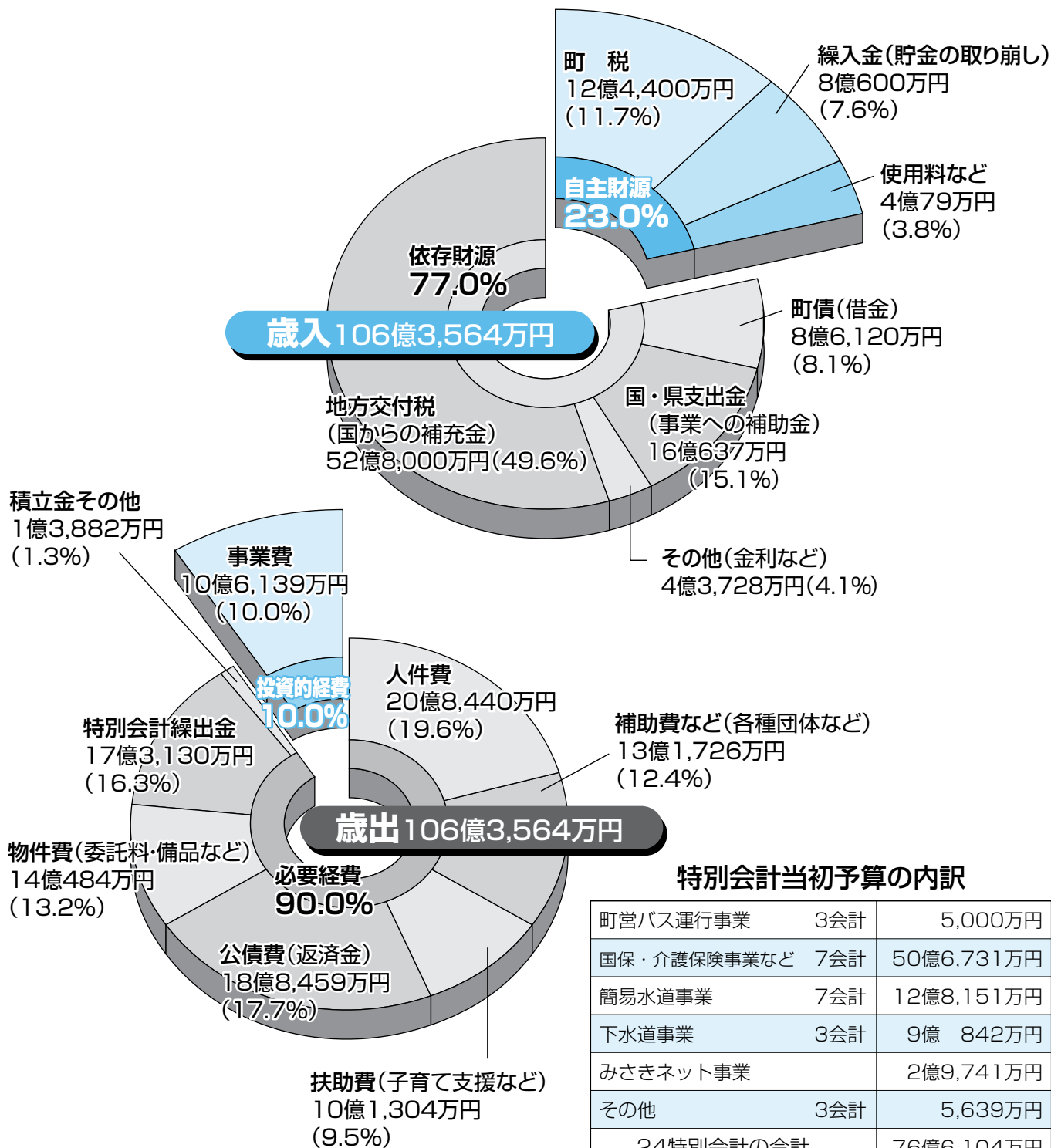
限られた財源で最大限の効果を

一般会計歳入歳出予算の内訳

前年度比1.4%増
前年度比7.1%増

一般会計
24特別会計

106億3,564万円
76億6,104万円



平成28年度当初予算は賛成多数で可決

〔予算特別委員会委員長報告〕

平成28年度一般会計当初予算は、106億3,564万円で対前年度比1億5,098万円（前年度比1.6%増）増加した。

歳入の主なものは、町税12億4,400万円を初めとして地方交付税、地方消費税交付金、地方譲与税、国・県支出金など。

歳出の主なものは、人件費・扶助費・公債費の義務的経費が49億8,203万円（前年度比1.6%減）、このうち公債費が18億8,458万円（前年度比3.6%減）。物件費・維持補修費・補助費の消費的経費が27億8,070万円（前年度比7%増）。工事費などの投資的経費が10億6,139万円（前年度比5.6%増）となっている。

大幅な税収の増加は見込めないが、少子化・高齢化対策、若者定住・人口減少対策、子育て支援対策など限られた予算の中で最大限の効果を求めた。

〔高齢者黄福給付金に対する討論〕

反対!!



三船議員

高齢者黄福給付金については、対象者を絞り込むことによって、単年度ではなく継続できる体制を整え、さらに人口減少対策への予算として活用させるべく再検討が必要である。



賛成!!



岡田議員

この給付金は、高齢者の経済的負担感を少しでも軽減させるための予算である。審議の過程の中で給付対象者の絞り込みが行われたことによって新たな福祉政策への道も開かれるものと感じている。

反対!!



松田議員

介護保険法の改正など高齢者福祉施策が急激に変化していく中、単年度の施策ではなく介護予防などにつなげる3年程度の計画性を持って予算執行に当たるべきである。しかし、全体の予算には賛成する。

採
決

賛成!!



形井議員

子育て支援の施策と比較した時、高齢者に対する施策が不十分と感じている。
今後の高齢者福祉政策を拡充させる意味においても、今回の給付金は重点施策として位置付けなければならない。

採決の結果予算案を賛成多数で可決

賛成14人	林田議員 小林議員 左居議員 片山議員 延原議員 形井議員 松田議員 岩野議員 金谷議員 江原議員 松島議員 山本議員 岡田議員
反対1人	三船議員

○議長は採決には加われません。

な 新 規 事 業

一般会計など予算55件、追加議案8件が上程されました。

新たな消防自動車を配備

消防ポンプ車の老朽化に伴い新たな車輛を購入し、柵原第一分団第一部に配備する。
〔消防車輛購入費3,018万円〕



高齢者などへ給付金を支給

町民税非課税の高齢者などを対象に給付金を支給。対象者には役場から通知が届く。
〔給付金事業費1億5,394万円〕

制 度	支 給 額
年金生活者支援給付金(国)	30,000円
美咲町高齢者黄福給付金(町)	10,000円

グランドゴルフ場のトイレを増設

中央かめっちグランドゴルフ場のトイレを増設する。
〔体育施設管理費1,028万円〕



柵原文化センターを改修

柵原文化センターの設備が老朽化したため空調設備を更新。
〔公民館管理費4,445万円〕



補正予算

◎一般会計補正予算

27年度歳入歳出の総額から1億3,084万円を減額し、一般会計の総額を109億5,507万円とする。

【主な歳入】

☆町税 3,555万円
☆地方消費税交付金 2,060万円

☆県支出金

△1億2,198万円

☆繰入金

△8,220万円

☆町債 △2,420万円

【主な歳出】

★基金積立金

2,000万円

★情報化推進費

2,800万円

★企画管理費

少子化対策重点推進事業 1,300万円

★地方創生加速化交付金事業

日本の田舎いいね！

地域づくり事業

1,900万円

3月議会

でこんなことが
決まりました

28年度の主

3月3日～24日まで定例議会が招集され28年度

旭地域のスクールバスを購入

旭地域のスクールバス老朽化に伴い新たなバスを配備する。

〔スクールバス購入費916万円〕



小学校のパソコンを買い替え

小学校のパソコン教室と校務用のパソコンを一括で買い替える。

〔小学校管理費5,825万円〕



人 事

柴原教育長の選任に同意

教育長の選任が提案され、全会一致で同意した。

任期は平成28年4月1日から平成31年3月31日。



美咲町吉ヶ原
柴原 靖彦氏
(新任)

議員発議

脳震とうの周知と予防およびその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書

学校におけるスポーツによる脳損傷を予防するため「教育機関での周知徹底と対策」「専門医による診断と適切な検査」「予防措置の推進と相談窓口の設置」などについて適切な措置を講じなければならない。
この内容を強く求める意見書を日本政府に対して送付した。

主な条例改正

産業建設観光課を新設

課設置条例の一部改正
産業課と建設課の統廃合を進めることで業務の円滑な推進を図る。

要 望

通学バスの路線延長に関する要望書

美咲町和田北1447

高木 一真他6名

児童数の増加により、子どもたちの健全育成の観点から採択とした。

地域の振興発展に貢献

議員活動を通じて多年にわたり地域の振興発展に尽力した功績が認められ、美咲町議会から貝阿彌議長が受賞しました。

◎全国町村議会議長会特別表彰



貝阿彌 幸善
議長

委員会 の活動

総務常任委員会からの報告

総務常任委員会は、総務課、まちづくり課、情報交通課、税務課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／形井 圓 委員／延原正憲、江原耕司、三船勝之、貝阿彌幸善の6人で審議しています。

【総務課】 役場の組織変更

問 産業課と建設課を産業建設観光課に統合するメリットは。

答 業務の効率化・合理化、応援体制の強化など住民サービスにつなげたい。

【まちづくり課】 新過疎計画の策定

問 28年度からの5カ年計画であるが、美咲町第二次振興計画を反映しているのか。

答 第二次振興計画を踏まえ、関係課で確認している。県とも調整したものである。



再生された古民家

大井和地区から通学バス路線延長の要望を受け、現地調査を実施した。

更に、同地区で実施された古民家再生プロジェクトで実施した現地建物も視察した。

【情報交通課】 みさきネットへの繰出し金

問 みさきネット基金を取り崩さないで一般会計から繰り出す理由は。

答 基金は、エアコン更新など28年度以降の大規模な支払いに備える必要があるため。

【税務課】 町税の滞納整理

問 町税の滞納者への対応は。

答 担当課も努力しているが、困難な場合は滞納整理機構などに依頼している。

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民課、健康福祉課、こども課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／松島 啓 副委員長／金谷高子 委員／林田 実、小林達夫、左居喜次の5人で審議しています。

【住民課】 ごみ収集場所の統廃合

問 ごみ収集場所の統廃合について予算が組まれていたが状況は。

答 ゴミステーションの統廃合は旭地域で多く取り組まれている。

【健康福祉課】 新総合事業の取り組み

問 あらたに新総合事業が始まるが、取り組みの内容は。

答 力を入れていくのが特に要支援者と元気な高齢者が地域で生活できる基盤づくりを目指して取り組んでいる。

【こども課】 保育園広域入所

問 広域入所は自治体によって格差があるか。

答 美咲町の人が町外を利用する場合は、町内利用と同じ料金で利用できる。



中央かめっこ保育園の新しくなった玄関扉

中央かめっこ保育園と柵原東保育園の門扉が新しくなりました。

重くて危険だった扉が、安全なものに変えられました。

また、職員室からリモコンで施錠できるものになりました。

【福祉事務所】 生活保護者の現状

問 生活保護、被保護者の人数、生活費はいくらか。

答 91世帯116人、生活費は人により前後はするが、60代一人暮らしで月6万5千円。

【教育総務課】 オーディオメータの購入

問 小学校および中学校の臨時管理費の内容は。

答 学校保健法改正による聴力検査機器(オーディオメータ)を各校1台ずつ配備する。

【生涯学習課】 プールの管理

問 柵原中学校のプールは修繕の必要はないか。

答 今のところ特別な修繕計画はない。使う前に業者に点検をしてもらい、安全に使用できるように心がけている。

委員会 の活動

産業・建設常任委員会からの報告

産業・建設常任委員会は、建設課・産業課・上下水道課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／下山和由 副委員長／岩野正則 委員／片山 剛、松田英二、岡田 壽の5人で審議しています。

【建設課】 中山間地域総合整備事業

問 総事業費11億円で進めている中山間地域総合整備事業は順調に進んでいるか。

答 27年度から岡山県の事業主体で農道などの工事を進めているが、若干の遅れが生じており、最終年度に向けて事業計画の調整を図る必要がある。

【産業課】 農作物鳥獣害防止対策

問 農作物鳥獣害防止対策補助金が6,600万円も減額されたのはなぜか。

答 当初は各地区から要請があった8,800万円の補助金を要望していたが、全国的に要望が多く、国からの補助金が2,200万円しか配分されなかった。



完成間近の小山のあずまや

役場から材料費の支給を受けて地元の力で建設された[小山棚田のあずまや]を視察した。

棚田を活用した地域振興に期待する。(小山地内)

【産業課】 ブドウ選果場再編事業

問 美咲町過疎計画に計上している集出荷貯蔵施設整備事業1億6,000万円とは何の予算か。

答 JA津山が実施する果樹選果場再編事業のことで、現在町内に2カ所ある施設を1カ所に統合する。打穴中地内に美咲ブドウ選果場を整備する。

【上下水道課】 公共下水道整備事業

問 公共下水道整備柵原地区のうち小瀬地区の施設整備は何年に完了するのか。

答 今の予定では28年度から工事に着手し、順調に進めば29年度末には工事を完了させて30年度からの供用開始を予定している。

予算特別委員会からの報告

予算特別委員会は、各課が所管する予算について審議を担当しています。
全議員16人（委員長／岩野正則 副委員長／江原耕司）で審議しています。

【まちづくり課】 分譲宅地造成事業

問 新たな分譲宅地造成事業費が計上されているが、内容は。

答 中央地域の錦織地区に6区画の分譲宅地を造成する。

【情報交通課】 みさきネット更新事業

問 みさきネットの維持管理費に多額の予算が計上されている。今後の運営は大丈夫か。

答 ここ数年の設備機器更新費用だけでも数億円の単独予算が必要となる。
民間委託も選択肢の一つ。

【こども課】 保育料無料化への考えは

問 少子化対策、子育て支援への策として保育料を無料にする考えはないか。

答 検討材料の一つではあるが、国・県の情報を入手しながら、さまざまな角度からの支援策を考えていく。

【住民課】 柵原クリーンセンターの活用

問 柵原地域に設置している柵原クリーンセンター整備の予算が計上されているが、どのように活用するのか。

答 今の施設を解体撤去した跡地に29年度で新たな施設を建設し、ストックヤードとして運営する。

【健康福祉課】 医療保険料金の値上げ

問 国民健康保険と後期高齢者医療保険の税(料金)の値上げをお願いすることになるようだが、どのくらい負担増となるのか。

答 平成30年度からの国民健康保険広域化に向けて、国民健康保険を月額400円程度、後期高齢者医療保険を月額300円程度値上げさせていただきたい。

【福祉事務所】 高齢者黄福給付金

問 町民税非課税の高齢者に対して町から支給される高齢者黄福給付金は何のための給付金か。

答 各保険料などの値上がりや年金の目減りなどに対して、高齢者福祉の観点から高齢者の所得を底上げする。

【教育総務課】 小・中学校パソコン購入

問 小・中学校のパソコンを全部買い替える予算が計上されているが、リースの方が効率は良いのではないか。

答 財政の面からリースよりも一括購入の方が有利と判断した。

【生涯学習課】 美咲町史編さん事業

問 美咲町史発刊の予算が計上されているが、発行部数などの詳細はどうなっているのか。

答 28年度では、民俗編と地区誌編をそれぞれ1500部発刊する。
購入をお願いする予定。

【上下水道課】 汚水処理施設の集約化

問 下水道の維持管理は将来にわたって町の財政を圧迫することになる。
経費削減の方向性は。

答 岡山県が提唱している汚水処理整備構想の見直しを進めており、この中で検討を進めている。

委員会の活動

議会運営委員会からの報告

12月議会の議会だよりの記事「議会政治倫理調査特別委員会報告」に関連して町民から公開質問状が提出された。

松田議員の委員長辞任理由について明確にする必要が指摘された。

このため、議長・副議長・議会運営委員長が事実関係の調査を行なった。

調査の結果は、平成27年11月13日にA職員と二人で県外に日帰りでドライブ旅行した事実が確認された。

目的は、A職員の精神的疲労が著しい状態に鑑み精神面のケアが目的であった。

しかし、調査特別委員会の委員長の立場にある者が参考人と旅行することは不適切な行動であったと認められた。

松田議員の行為は委員会や議会の混乱だけでなく、町民にも不審を招くこととなった。

ととなった。

このため松田議員は、調査特別委員会委員長の引責辞任だけでなく、議会広報編集特別委員会委員長、議会運営委員会委員、定住対策特別委員会委員の役職を自ら辞任した。

なお、林田議員も一連の問題について、議会改革特別委員会委員長、議会運営委員会委員、定住対策特別委員会委員の役職を引責辞任した。

議会としては、昨年6月から対応してきた林田議員に対する一連の問題については、12月議会で一応の対応を行っており、それぞれ議員の役職辞任をもつて区切りとし、これ以上議会活動を滞らすことは許されないと深く反省している。

今後は、調査特別委員会報告で提言された、美咲町議会基本条例の中に「政治倫理規定」を早期に整備する作業に着手し、町民のご理解を得るべく努力している。

これらのことから変更となった議会委員会の委員は次のとおり

議会運営委員会			
委員長	延原正憲		
新 副委員長	岩野正則		
新 委員	金谷高子		
委員	松島 啓		
委員	下山和由		
委員	山本宏治		

議会広報編集特別委員会			
新 委員長	金谷高子		
新 副委員長	左居喜次		
委員	片山 剛		
委員	延原正憲		
委員	松田英二		
委員	江原耕司		

議会改革特別委員会		
新 委員長	延原正憲	
新 副委員長	左居喜次	
委員	全議員(14人)	

定住対策特別委員会

委員長	山本宏治
副委員長	下山和由
委員	延原正憲
新 委員	岩野正則
新 委員	金谷高子
委員	松島 啓

議会政治倫理調査特別委員会報告の補足説明

12月議会だよりの記事「議会政治倫理調査特別委員会報告」に関連して提出された動議について次のような質問が寄せられました。

問 議員辞職勧告決議案が可決されたのに議員辞職しなくてもいいのか。

答 議員辞職勧告決議は、議員としてふさわしくない人物に対して行われる議会の意思表示である。可決されても法的拘束力はないため、この勧告に従わなくても法律上問題ないとされています。

町政を問う

一般質問は町民を代表し、町長・教育長などに
町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質 問 内 容
12	下山 和由	1. 人為的ミスのないよう最大限の配慮を 2. 美作岡山道路の着工にさらなる努力を ◇ 町内の未売却分譲地の完売に向けて対応は
13	三船 勝之	1. 今こそ思い切った人口減少対策を
	松田 英二	1. 工場立地法改正による条例制定を
14	延原 正憲	1. 美作岡山道路に積極的関与を 2. マイナンバー制度に支援を ◇ プレミアム商品券の検証は
15	小林 達夫	1. 安全な通学路を真剣に考える時では 2. 生きたお金の使い道を

ページ	議員名	質 問 内 容
16	松島 啓	1. 必要なのか町のシンボリック施設 2. 義務教育学校のメリットは
17	山本 宏治	1. 町内へ桜の記念樹配布を 2. 若者に選挙制度改正のPRを
18	江原 耕司	1. 人口減少対策に分譲地の造成を 2. 地元要望の道路改良の早期完成を ◇ 県道改良工事は（大戸上中央線） ◇ 文化財の茅葺き修繕を
19	岩野 正則	1. さらに魅力あるみさきテレビに 2. 町史編さんの進捗状況は ◇ 空き家対策は進んだか

ページ	議員名	質 問 内 容
20	左居 喜次	1. 今後の防火対策は 2. 津山圏域消防組合今後の庁舎建設計画は
21	岡田 壽	1. 介護保険要支援者への対策は 2. 幸せの指標づくりを ◇ 新年度予算の目玉は
22	形井 圓	1. 建設工事最低制限価格制度の見直しを 2. スクールバス送迎区域の見直しを ◇ みさき創生総合戦略の取り組みは ◇ 子ども議会での対応状況は ◇ 亀甲駅前整備の安全対策は
23	金谷 高子	1. 「教育環境なら美咲町が一番」とは 2. 期日前投票の簡素化を ◇ 新春首長インタビューの確認 ◇ 骨髄移植ドナーに支援を

議会だよりには、
2問まで掲載しています。
掲載できなかった質問は
◇で表示しています。

質問

人為的ミスのないよう 最大限の配慮を

町政を問う

一般質問

下山和由 議員

答弁

緊張感をもって取り組む



問

昨今マスコミなどで行政の徴収ミスが報じられている。条例改正などにより

端末機器システムの不具合、また人的ミスもあるようだが本町での対応は、システムの確認、今後の対応と改善策について、どう考えているか。

答

高田住民課長

岡山中央総合情報公社でオンライン処理を行い、再度入力後のチェックを行うなど事務処理に徹していく。

答

山崎税務課長

入力する際、税目において担当者が入力



しっかりチェックしています!!

答

桑元健康福祉課長

各課と同様に情報公社のシステムを利用しており不具合による特段のミスなどは現在のところ確認できていない。

答

山上下水道課長

細心の注意を図り、使用者の変更など水道の利用に関するデータを情報公社の端末機に入力している。

答

遠藤情報交通課長

1年分の納付書の発行の内容を確認し、入力、見直し作業を注意深く行っている。

質問

美作岡山道路の着工に さらなる努力を

答弁

県と認識を共有しながら
進めていく

問

平成8年度から27年度までの美作町の負担金は約2億2,160万円となっている。

また残りの負担金も1億6千万円程度が見込まれている。

早急に着工できるようにするのが行政としての責務である。

町が中心になり、地域に向いて歩み寄りの努力をする考えは。

答

産業建設課長

これまで県と連携をとり、早期に事業が進

問

むように地元に対して説明をしている。27年5月から広報紙と一緒に「美岡だより」を配布している。

また地元説明会の開催、戸別訪問の実施も行っている。

12月には3日間相談会を開き、地元関係者の理解が得られるよう努めている。

答

定本町長

美作岡山道路は、岡山県が主体となり進めている道路である。

県と考えを共有しながら認識を高め、進めていく。



早期全線開通を

町政を問う

一般質問

三船勝之 議員



今こそ思い切った 人口減少対策を

質問

成果が出るよう
あらゆる施策で取り組む

答弁

問

平成27年国勢調査結果が公表され、本町の人口が14,451人、7・6%の人口減であった。

今こそ人口減少対策の思い切った政策が必要である。

①交付税の減少と職員削減計画は。

②農業を中心とした若い人の移住定住対策は。

③子育て支援策の拡充

答

木谷総務課長

①人口が減少した場合の激変緩和措置があるが、試算では交付税が1億7,400万円程度減少すると予測が立てられる。

答

畝本産業課長

②JAつやまが事業主体となり、果樹選果場の再編が行われる。

美咲ブドウのブランドの確立が図られると確信している。

答

稲谷こども課長

③28年度から新規事業として出産祝い金を設ける。

答

定本町長

職員は現在200人で、合併当初より50人減っている。

保育園の職員の質の向上、安心して子どもを預けられる環境づくりが必要だ。



大きく育て美咲の子ども

町政を問う

一般質問

松田英二 議員



工場立地法改正による 条例制定を

質問

国からの権限移譲を見極め
対応する

答弁

問

国が制定している工場立地法では、工場の敷地面積が9千㎡を超えるとその内25%は緑地などの環境施設を配置しなければならない。

この全国一律の規制が民間企業の設備投資意欲を躊躇させる要因ともなっている。

昨年国会で成立した地方分権一括法によつて、この緑地面積率を定める条例制定の権限が市町村に移譲されることになった。

法律が改正された後、早期に条例を制定する考えはあるのか。

答

定本町長

28年度の通常国会において工場立地法の改正が行われ、国から正式な権限移譲の話が出てくれば、準則やガイドラインも含めた対応を図っていくことになる。

問

昨年の6月定例議会で美咲町企業誘致条例改正の答弁があったが、何の対応も行われていない。

スピード感と緊張感を持って当たらないと地方創生の波に乗り遅れてしまう。

答

定本町長

早急な対応を図っていく。



民間企業の設備投資に期待

質問

美作岡山道路に 積極的関与を

町政を問う

一般質問

延原正憲 議員

答弁

早期開通に最大限努力する



次は柵原ICをみんなで歩くぞ

問

美作岡山道路に
ついては、町も議
会も早期完成に
向け意思統一を
図っているにも
関わらず、飯岡
地区では現地
測量にさえ着
手できない状
況のままであ
る。

県提示ルートの地元合
意に向けて町のさらなる
積極的関与が重要である。
町の基本方針と、具
体的振興策を確認したい。

答

定本町長

この道路は美咲町
にとっても重要であり、早
期開通に最大限努力す
る基本方針に変更はない。
県提示ルートで地元
の合意を得られるよう
粘り強く説得していく。
飯岡にインターチェン
ジができることを前提に
地区の方々とワークシ
ョ

問

ツブなどを開催し具
体的な振興策を考えたい。
ルート未決定を
理由に滝谷池の改
修工事が延期されて
いる。

集中豪雨や地震など
の災害からどう住民の
安全を確保するのか。

答

定本町長

滝谷池の改修工
事は、県の事業評価の対
象であり、ルートの決定
が必要となる。

地震対策の改修工
事に着手するまでの応急
工事を考えている。

改修工事に加え応急
工事についても応分の地
元負担をお願いするこ
とになる。

道路と池は別の事業
であるが、一体として考
えるを得ない状況である。

質問

マイナンバー制度に支援を

答弁

カードの写真代は自己負担で

問

27年度から導
入された個人番
号制度の普及のため、
個人番号カード申請
に必要な写真を町で
撮影するなど支援で
きないか。

答

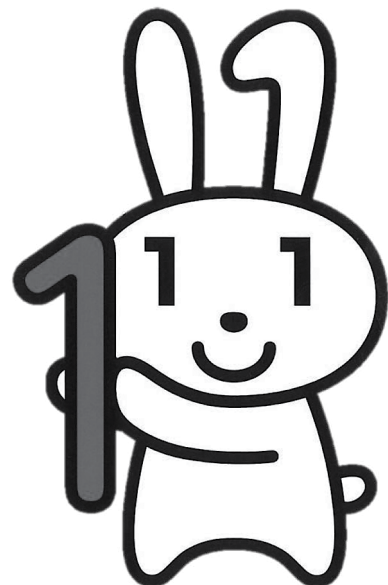
高田住民課長
個人番号カー
ドの申請状況は2月
末現在で130件と
なっている。

はがきで申請する
場合は写真の添付が
必要であるが、パソ
コンやスマホからデ
ータ添付で申請する方
法もある。

答

定本町長
個人番号カー
ドは、これから便利
なカードになると考
えている。

写真代だけの負担
で発行してもらえ
るものであり、カー
ドが必要な人が負担
してほしい。



マイナンバーキャラクター
マイナちゃん



安全な通学路を 真剣に考える時では

質問

重要箇所から取り組んでいる

答弁

問

教育委員会や学校など各関係者が

新規設置は、補助制度などを使ってほしい。危険箇所は早急に実施していきたい。

答

石戸教育総務課長
防犯灯は、原則地元での設置、維持管理である。

問

通学路の防犯灯整備がまだまだ不十分である。

過去3年で何度か質問したが、改善されていないのでは。

答

泉教育長

各学校単位でそれぞれPTAと見て回り、要望書を出してもらい、調査をしている。

問

暗い通学路だと通勤中に気づくような職員の育成が必要では。

答

定本町長

地域の行事、催し物に出るよう指示をしているが、そのような中から人材が生まれ育つと考える。



子どもたちのために安全対策を

質問

生きたお金の使い道を

答弁

必要な事業に取り組んでいく

問

今後の取り組み方は。

①人口増の対策は。
②ふるさと納税への取り組み方は。

③65歳以上の人に1万円を支給する事業計画の効果は。

答

畑尾まちづくり課長

①みさき創生総合戦略を策定し、重要業績評価指数を明記して達成できるような全力を尽くす。

答

木谷総務課長

②インターネット上でクレジット決済が完了できる制度の取り入れ、返礼品の発送管理、返礼品の掘り起こし、企画開発など新たに委託する。

答

定本町長

③介護保険料などの値上がりを受け、負担を緩和する意味で給付する。

町内での経済効果も期待される。

問

1万円の支給よりも健康づくり事業、過疎対策としていく。

答

定本町長

ての人口増などに費やす方が生きた使い道ではないか。

健康づくりの事業と給付事業は別々に考えてほしい。

健康づくりなど必要な事業があればやっていく。



人気の返礼品をどうぞ

質問

必要なのか 町のシンボリック施設

町政を問う

一般質問

松島 啓 議員

答弁

官民連携で研究したい



これからどうする公共施設

問

合併以来、老朽化した施設、遊休施設などが多くあり、町は公共施設などの管理計画を策定中だが、その進捗状況は。

町長は、町のシンボリックな施設整備を考えているとのことだが、どのような構想なのか。煙尾まちづくり課長

答

町内の約300施設を調査した。

今後、町民、有識者で構成する委員会を設置し、将来見通しに基づいた方針、計画を策定したい。

答

定本町長

町のシンボリックな施設の整備は、国の官民連携の事業に応募し、その中で研究していきたい。

問

近隣市町では、立派な施設を整備した後の維持管理に苦慮している。

今後は、近隣市町との施設の相互利用も考えるべきではないか。

答

定本町長

施設整備の構想は、町民、シンクタンク（専門調査機関）などと連携して考えていきたい。

質問

義務教育学校のメリットは

答弁

9年間を見通した指導ができる

問

28年度から創設できることとなった義務教育学校とは。本町も研究しているとのことだが、導入することによるメリット、デメリットは。

答

泉教育長

学校教育制度の多様化および弾力化を推進するため、現行の小・中学校に加え、小学校から中学校までの義務教育を貫けて行う新たな学校である。

メリットは、中学校の教科担任制、小学校のきめ細かい指導などをお互いが共有すること。

問

また、中1ギャップの解消、9年間を見通した指導など、学習上、生徒指導上の効果が考えられる。デメリットは、9年間の人間関係が固定化される問題や学校行事との調整の問題などが考えられる。

答

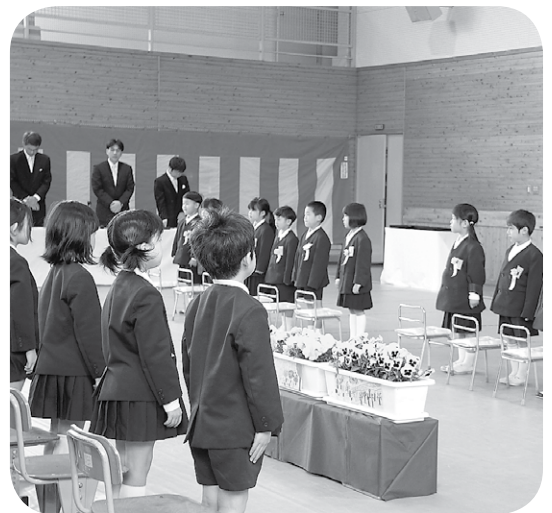
不登校の対策には効果があるのか。

問

泉教育長

現在、町内で完全に不登校であるという児童・生徒はいない。

小学1年生の段階から継続的に同じ目線で指導ができ、早期の対応で効果があると考えている。



これから一緒だよ（柵原東小入学式）

町政を問う

一般質問

山本宏治 議員



町内へ桜の記念樹配布を

質問

三休公園への桜の補充に 取り組んでいる

答弁

問 旧旭町時代、一般企業の協力により記念樹を配布した。各家庭の庭などに桜の植樹をし、現在では桜の見どころになっている場所がある。

答 定本町長 26年度に県主体の緑化事業で三休公園に桜の植樹をした。また、毎年緑の基金から配布される約220



町内を桜で盛り上げよう

答 旭、柵原総合支所周辺など桜の維持管理は。

問 株が三休公園内に植樹されている。桜の木の病気など問題もあり、現段階は三休公園での補充に取り組みたい。

答 難波旭総合支所長 庁舎周辺は、シルバー人材センターに手入れを委託している。森廣柵原総合支所長 鉦山資料館には植栽されており指定管理でお願いしている。

問 28年7月から選挙制度が変わるが、若者の選挙離れなど選挙に対する投票率の問題も危惧されている。

答 18歳から選挙権を有する若者に対して独自のPRを考えているのか。

答 木谷総務課長 18歳から選挙権が与えられるが、18歳よりも若い世代を対象に早い時期から選挙に感心を持ってもらうことが大切と考えている。中学校などへNHKが放送した番組のDVDを配布する意見が出ています。また、小学生向けの選挙啓発冊子を提供する予定が県の選挙管



子どもの頃から政治への関心を（子ども議会）

問 投票所の見直しがあったが、新たに高齢者への配慮はあるか。

答 投票所の重要性を子どもたちに植えつけていくことは大切である。

答 木谷総務課長 24投票所から15投票所になった。高齢化への対応として臨時バスでの送迎には、いろんな制約がある。今後、選挙管理委員会で検討していく課題である。

問 投票の重要性を子どもたちへ

質問

若者に選挙制度改正のPRを

答弁

投票の重要性を子どもたちへ

質問

人口減少対策に 分譲地の造成を

町政を問う

一般質問

江原耕司 議員

答弁

効果的な分譲地の 取り組みをやっていく



永住対策には分譲地の造成を

問

賃貸住宅入居に
対する補助金も人
口減少対策の一つだ
が、土地を購入し永住
してもらおう対策はどう
か。

現在、住宅金融公庫
の金利は、建築する者
に有利な条件になって
いる。
津山市や真庭市の企
業などへ通勤可能な場
所を造成し、分譲すれ
ば人口流出の歯止めに
なると考えるがどうか。

答

定本町長

うたのしも団地
13戸を分譲した26年度
には、転入人口が転出
人口を9人上回った。
分譲地の造成・販売
は定住につながり、人
口増には効果的である。
28年度予算でも分譲
地の造成を1カ所予定
しており、今後も効果
の出る分譲地の取り組
みをやっていきたい。

質問

地元要望の道路改良の 早期完成を

答弁

それぞれ順次着手し 要望に応えたい

問

これまで地元要
望として出されて
いる道路修理、道路改
良などの進捗状況はど
うなっているのか。

答

矢木建設課長

①旧中央町時代

に計画され、美咲町にな
った17、19年度の3年
間で延長540メートル
を改良した。

未改良部分について

は、28、32年度の過疎
計画に入れているが、着
工については未定である。

②

長万寺池付近は、
幅員が十分広いため、拡
幅工事ではなく区画線
など誘導ラインを施工
して車両の通行をスムー
ズにしたい。

③

加美橋から藁尾の
信号までの区間について
は、27年度で路線の測
量設計業務委託をして
いる。

計画は河川に沿って
歩道を設置するもの。

今後は、道路の詳細

設計ができ、用地の了解
を得られれば順次工事
に着手し、30年度完成
を予定している。



改良が待たれる通学路

町政を問う

一般質問

岩野正則 議員



さらに魅力ある みさきテレビに

質問

意見を聞きながら改善する

答弁

問 加入率は、また運営協議会の状況はどうなっているか。

答 遠藤情報交通課長 テレビの難視聴地域を解消し、地上デジタル放送への対応を図ることを目的に町内全域に整備した。

テレビ運営の経費だけ算出することはできないが、みさきネット放送設備保守業務委託料など4,944万円を7年度は計上した。

問 加入率は、また運営協議会の状況はどうなっているか。

答 遠藤情報交通課長 テレビの難視聴地域を解消し、地上デジタル放送への対応を図ることを目的に町内全域に整備した。



みさきテレビの更なる進化を

問 加入率は、28年度末現在で58・8%となっている。

答 運営協議会は「番組企画編成会議」という名称で28年3月中には開催したい。

問 少ない人数の中でも、企画や取材数などを増やす工夫をしていくようスタッフとも話をしていきたい。

答 岡部副町長 定本町長 運営協議会の意見を聞きながら改善する。

問 加入率は、28年度末現在で58・8%となっている。

答 運営協議会は「番組企画編成会議」という名称で28年3月中には開催したい。

問 美咲町史編さん事業の進捗状況、完成時期は。

答 鈴鹿生涯学習課長 28年度に地区誌編、民俗編の発行を予定している。

問 資料編、通史編の発行に向けて作業を進めており、最終的に32年度には作業終了の予定である。

答 資料提供の呼びかけをしているが、町内にはまだまだ貴重な資料があると思われる。

問 資料の保存、展示など今後の計画は。

答 泉教育長 資料の重要度

問 美咲町史編さん事業の進捗状況、完成時期は。

答 鈴鹿生涯学習課長 28年度に地区誌編、民俗編の発行を予定している。

問 美咲町史編さん事業の進捗状況、完成時期は。

答 鈴鹿生涯学習課長 28年度に地区誌編、民俗編の発行を予定している。

答弁

32年度完了を目指し作業中

質問

町史編さんの進捗状況は



貴重な資料を後世へ

問 美咲町史編さん事業の進捗状況、完成時期は。

答 鈴鹿生涯学習課長 28年度に地区誌編、民俗編の発行を予定している。

問 資料編、通史編の発行に向けて作業を進めており、最終的に32年度には作業終了の予定である。

答 資料提供の申し出があるが、人手不足で確認できていない資料もある。

問 資料の保存、展示など今後の計画は。

答 泉教育長 資料の重要度

質問

今後の防火対策は

町政を問う

一般質問

左居喜次 議員

答弁

消防団と協力し継続的に火災予防の啓発を行っていく



火災発生件数と出火率(人口1万人当りの火災件数)

地域	項目	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
美咲町	発生率	4.3	5.0	9.5	9.0	8.4
	発生件数	7	8	15	14	13
津山圏域	発生率	5.4	3.8	4.7	5.3	4.8
	発生件数	87	60	74	83	75
岡山県	発生率	4.0	3.5	3.9	3.5	未発表
	発生件数	763	680	755	686	
全国	発生率	3.9	3.5	3.8	3.4	未発表
	発生件数	50,006	44,189	48,095	43,741	

問 平成27年の津山圏域内における火災発生件数の発表があり、津山圏域内75件、そのうち美咲町は13件であった。

近年、火災発生件数が人口割にして大変高い状況を示している。消防団においては防火を最も重要な活動目標とし、昼夜を問わず火災予防の啓発活動を行っている。

今後、町、行政として防火対策をどのように進めていくのか。

答 本谷総務課長 「広報みさき」でも火災予防の特集を組み、防火意識の啓発、火の取り扱いに対する習慣づけをお願いしている。

消防団では、火災が発生した地元の分団から報告書の提出を独自に設け、団員に対しても防火意識の徹底を求めている。今後も消防団と協力し、継続的に火災予防の啓発を行っていく。あわせて消防施設、消防車両などの設備の充実にも努めていく。

質問

津山圏域消防組合 今後の庁舎建設計画は

答弁

検討委員会の提案により 管理者会議で審議検討する

問 津山圏域消防組合は、昭和48年4月1日に発足し、以来43年間地域住民の安心・安全を守ってきた。当初より大幅に手を加えていない庁舎が久米南分署、そして柵原・日本原・加茂各出張所だが、今後の庁舎建設計画はどのようになっているのか。

答 本谷総務課長 新年度になると圏域消防組合から加盟市町村に計画が示される。

問 具体的内容、場所の決定については検討委員会、管理者会議において審議検討がなされる。柵原出張所と久米南町との連携もとりながら進めるべきと考えるがどうか。

答 定本町長 全く同感である。久米南町と力を合わせながら活動していきたい。



昭和49年より地域を守る柵原出張所

町政を問う

一般質問

岡田 壽 議員



介護保険 要支援者への対策は

質問

「通いの場」を立ち上げる

答弁

答 桑元健康福祉課長
新総合事業は市町村が主体で地域の実情に応じサービスすることになる。地域包括支援センター、社会福祉協議会が移行に向けた「通いの場」で要支援の人を含めた対応を考えている。村島地域包括支援センター長
法律改正で要支援の

問 29年度から介護保険法改正で新総合事業が実施され、要支援1、2の方の通所・訪問介護を介護給付から除外し、町の事業に移行される。本町の対策は。



新しくスタートした「通いの場」(八神・塚角地区)

人への対応が大きく変わり、新事業では地域全体の高齢者が積極的に生活できる地域づくり(生活基盤)の視点で進められる。町ではデイサービスの利用理由を検討した結果、地域で交流できる場が最も必要で、高齢者が社会参加し自分の思いを実現できる場所を設立すべきとなった。28年度は旧町内に2カ所程度のモデル「通いの場」を考えている。「通いの場」には幅広い地域住民に当事者意識を持って参加をお願いしたい。

答 泉教育長
合併10周年記念に子どもたちの作文を募集した。その中には家族や地域、自分の夢があ

問 本町では黄福物語をテーマに「小さな町の小さな幸せ」でまちづくりを実践中である。町民と一緒に「本当の幸せ」とは、と考えることがまちづくりではないか。幸せの指標づくりをしてみてはどうか。

答弁

できることから一歩ずつ

質問

幸せの指標づくりを

答 岡部副町長
町を紹介する冊子「黄福パス」の作成の中で幸せについてで

本当の幸せとは

“人よりも”ではなく“人と共に”

“自分だけ”ではなく“みんなで”

“今だけ”ではなく“いつまでも”

“ここだけ”ではなく“どこでも”

引用：NPO法人ネットワーク地球村

質問

建設工事最低制限価格 制度の見直しを

町政を問う

一般質問

形井 圓 議員

答弁

指名委員会で審議をしてきた



公共施設入札制度の見直しを

問

26年9月議会で
建設工事最低制限

価格の見直しが必要で
はないかと質問した。

検討していくとの答
弁であったが検討はで
きたのか。

答

岡部副町長

指名委員会であ
びたび審議してきた。

最低制限価格は、取
扱要領によりコンピュ
ターの自動計算で決定
し、約4%の幅がある。
価格が低すぎると手
抜き工事などにつなが
りやすいため現行制度を

問

適用している。

町内の中学校建
設が検討されてい
るが、建設費が20億円

の場合、現状の制度で
あれば8千万円高く落
札される可能性がある。

8千万円安くても工
事を請け負う企業があ
るが、なぜ高い企業に

落札させるのか。

答

岡部副町長

今後金額の大き
いものについては、総合
評価方式の導入を検討
していきたい。

質問

スクールバス 送迎区域の見直しを

答弁

安心・安全な通学支援を
目指し検討する

問

みさき総合戦略
に「教育環境なら
美咲町が一番を目指
す」と基本目標にある。

大井和地区住民から
スクールバス路線延長の
要望書も出されている。

子どもたちの安全の
ために実施すべきでは。

答

石戸教育総務課長

28年度から4小
学校、2中学校合計19
路線のスクールバス運
行を予定している。

大井和地区のスクー
ルバス路線の延長につ
いては、情報交通課、
建設課と協議している。

問

加美小学校では
6キロメートルを
超えて徒歩通学してい
る子どもたちがいるが、

なぜ加美小学校だけス
クールバスがないのか。

答

泉教育長

スクールバスが
運行する学校は全て統
廃合の時点でバスを導
入している。

加美小学校は創設以
来110年近くなるが、
統廃合されていない。

安心・安全な通学支
援のために、今後検討
する。



待ってるよ スクールバス

町政を問う

一般質問

金谷高子 議員



「教育環境なら美咲町が一番」とは

質問

ICT教育を取り入れたい

答弁

問

みさき創生総合戦略の中に「教育環境なら美咲町が一番」を目指す重点施策を掲げている。

具体的にどのような施策を考えているのか。

答

総合戦略の中には結婚、教育で選ばれる町の実現が挙げられている。

その中で美咲町として独自性のある教育体制の構築が求められている。

ICT教育を取り入れていきたい。

タブレット・コンピュータ



田舎ならではの 貴重な体験

問

タなどの情報通信技術を活用した学校教育をどのように位置づけていくか具体的な方策を考えたい。

自然の中で強く生きる力を養うことも必要だと考えるかどうか。

答

畑まちづくり課長 子どもたちの作文集から地域活動が活発であることがうかがえる。

今後とも地域と一緒に取り組みたい。

※ICT教育：情報通信技術を活用した学校教育

質問

期日前投票の簡素化を

答弁

さまざまな面から検討している

問

28年7月の参議院選挙から選挙権年齢が18歳以上となる。

また、期日前投票に行く人が増えていることから若い有権者も投票しやすいように期日前投票に力を入れなくてはならないか。

① 新たに有権者となる本町の18歳以上の人口は。

② 24年12月期日前投票に「宣誓書」を導入し、投票の改善について質問したが、その後協議されたか。

入場券の裏面に宣誓書を印刷し、期日前投票がしやすくないか。

答

木谷選挙管理委員会事務局長
① 28年7月の参議



期日前投票の改善を

院選挙を対象にする、18歳、19歳の有権者は251人である。全有権者の1.9%程度になると思う。

② 岡山県では24年当時2市町が「宣誓書」に取り組んでいたが、現在では16市町村が取り組んでいる。

各世帯に送付される入場券の裏面に宣誓書を印刷する方法を採用している自治体もあるが、混乱を招く可能性があるという意見もある。

選挙管理委員会では、世帯でまとめたの郵送から、個々への郵送に切り替えた場合の経費も含めて継続して審議していきたい。

町民の皆さんこんにちは

サークル紹介
第24回

グラウンドゴルフで健康増進



西川グラウンド ゴルフ同好会

●いつ頃から活動していますか●

今年で25年目です。

●どんな活動をしていますか●

毎日、朝9時からみんなが元気でプレーをすることを楽しみに集まっています。
(雨天の日は休みます。)

●メンバー構成は●

メンバーの年代は66歳から86歳で、総勢16人でがんばっています。

●活動を始めたきっかけは●

健康増進と皆さんとの会話。

●楽しいことは何ですか●

大会に出場すること、茶和会、ミーティングをみんなで楽しくワイワイすることです。

●これからの活動は●

会員も少なくなっているなので、健康増進にグラウンドゴルフを一緒にしてみませんか。

●議会に一言お願いします●

健康でスポーツできる環境整備にご支援ください。

いつまでも元気に仲よく

プレーしてください

編集
後記

今年の三休公園の桜と、つじが気温の関係でほぼ一緒に咲き皆様、楽しまれたのではないでしょう。

今年は、地方創生、総合戦略の取り組みが始まります。

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、初めての選挙が行なわれます。

美咲町の人口減少を食い止めていくのは、若者が躍動できる地域づくりが重要ではないでしょうか。

「住んでみたい、住んでよかった」と思われる町づくりに行動を起こしていきたいと思っています。

議会だよりは皆さんに読みやすい誌面づくりを心がけてまいりました。

これからも、皆様に手に取っていただけるよう、わかりやすく楽しんでいただける誌面づくりに努力してまいります。

(金谷記)

議会広報編集特別委員会

委員長 金谷 高子

副委員長 左居 喜次

片山 剛

延原 正憲

松田 英二

江原 耕司